

重点プロジェクトに係るこれまでの取り組み（R4.3.25開催検討会議以降）と今後の予定について

重点プロジェクト	これまでの取り組み	今後の予定
<p><b>共創のまちぐらし推進プロジェクト</b></p> <p>○ まちぐらし事業の検討・実施・検証 市民等の創意工夫によるまちぐらしの実現に向けた取組みを進めるための実証実験</p> <p>○ まちを学ぶ場の提供 持続的にまちに関わる人材を育てるための学びと実践の場の提供</p>	<p><b>1 函館西部まちぐらし共創サロン</b></p> <p>株式会社はこだて西部まちづくRe-Designおよび函館市西部地域振興協議会との連携のもと、「共創のまちぐらし推進プロジェクト」の推進にあたり、地域住民をはじめ、市民やまちづくりに関わる参加者が西部地区の未来を考え、まちぐらしを語り合い、共有する場として、函館西部まちぐらし共創サロンを定期的に開催した。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>【第1回 開催概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催日時：令和4年7月29日（金）</li> <li>○開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター</li> <li>○参加者：43名</li> </ul> <p>（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）函館西部地区再整備事業（共創サロン）について</li> <li>（2）株式会社はこだて西部まちづくRe-Designについて</li> <li>（3）まちづくり先進地視察報告について</li> <li>（4）函館西部地区のまちづくり「増やそう！未来を灯す人」について</li> <li>（5）意見交換</li> </ul> <p>※開催結果は、市のウェブサイト等で公開済</p> <p><b>【第2回 開催概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催日時：令和4年9月2日（金）</li> <li>○開催場所：元町公園内 旧北海道庁函館支庁庁舎2階</li> <li>○参加者：35名</li> </ul> <p>（1）内と外をつなぎ新しい価値をつくる</p> <p>（2）西部地区の情報発信について</p> <p>（3）参加者との意見交換</p> <p>※開催結果は、市のウェブサイト等で公開済</p> <p><b>【特別企画 開催概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開催日時：令和4年10月14日（金）</li> <li>○開催場所：元町公園内 旧北海道庁函館支庁庁舎2階</li> <li>○参加者：35名</li> </ul> <p>（1）映画の街函館・ロケ物語ー函館の景観が生んだ数々の名シーンー</p> <p>（2）参加者交流会</p> <p>※開催結果は、後日、市のウェブサイト等で公開予定</p> </div> <p><b>2 函館西部まちなか空間利活用プロジェクト</b></p> <p>公園をはじめ、道路や空家・空地などのまちなか空間を舞台に、日常的に住民・市民が集い、観光客もひきつける西部地区ならではの魅力あふれる新たな賑わいと憩いの場の創出を図るため、民間事業者主体のプロジェクトにより多様な空間活用方策の検討・試行を行った。</p>	<p><b>1 「西部地区まちぐらし検討会議」の開催</b></p> <p>主に重点プロジェクトに掲げる事業の進め方の検討や意見交換等を市民と協働で行う。 ※令和4年10月25日で現委員の任期（2年）が満了。</p> <p><b>2 函館西部まちぐらし共創サロンの開催</b></p> <p>株式会社はこだて西部まちづくRe-Design等と連携のうへ、「共創のまち育て」をコンセプトに、市民やまちづくりに関わる参加者同士の対話を通して、西部地区の未来を考え共有し、まちぐらしを語り合う場を定期的に開催する。さらに参加者一人ひとりの意見やアイデアを尊重し、今後立ち上がっていく予定のプロジェクトを主体的に運営してもらうことを目指す。</p> <p><b>3 函館西部まちなか空間利活用プロジェクト</b></p> <p>公園をはじめ、道路や空家・空地などのまちなか空間を舞台に、日常的に住民・市民が集い、観光客もひきつける西部地区ならではの魅力あふれる新たな賑わいと憩いの場の創出を図るため、民間事業者主体のプロジェクトにより多様な空間活用方策の検討・試行を行う。</p> <p><b>4 共創のまちぐらし活動の推進</b></p> <p>エリアマネジメントを実働する株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの事業連携をはじめ、市民や民間事業者等が主体となったまちづくり活動に対する支援や協力関係の構築など、地域の発意による主体的なまちぐらし活動を推進する。</p>

**【元町マーケット】**

- 開催日時：令和4年7月9日（月）・10（日）
- 開催場所：元町公園
- 開催内容：飲食・物販，体験ほか

**【ナイトマーケットin港の庵】**

- 開催日時：令和4年8月26日（金）・27日（土）
- 開催場所：港の庵（旧松橋商店）ほか
- 開催内容：飲食・物販，体験，LIVE演奏

**【函館カレーフェス】**

- 開催日時：令和4年10月8日（土）・9日（日）
- 開催場所：金森赤レンガ倉庫BAYはこだてイベント広場
- 開催内容：飲食・物販ほか

**【函館西部地区BlockParty】（※協力）**

- 開催日時：令和4年5月15日（日）
- 開催場所：元町公園
- 開催内容：飲食・物販，体験，LIVE演奏
- ※開催結果は，市のウェブサイトで開催済

**3 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの連携**

- ・函館西部地区ニュース「YouTube」の配信

令和4年5月7日から配信を開始し，函館西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当てながら，様々な活動やイベント，日常の風景等を発信している。

※まちづくりセンター1階備え付けのモニターで常時放映中。

- ・西部地区の地域情報「ウェブサイト」の掲載

函館西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当て，4つのカテゴリー「西部地区の暮らし」・「西部地区のまちぐらし」・「西部地区での起業」・「西部地区への移住」として投稿を順次掲載している。※これまでの投稿者数（24人）

**4 その他共創のまちぐらし活動の推進**

- ・街角NEW CULTURE 2022への後援・協力
- ・はこだて移住サポートセンター「はこだて暮らしセミナー」への後援・協力

## 既存ストック活性化プロジェクト

### ○ 不動産データベースの構築

低未利用不動産の所在地・面積・地権者等の情報集約

### ○ 民有の低未利用不動産等の流動化促進

民間実施団体による不動産の取得・仲介等

### ○ 公有の低未利用不動産等の利活用

活用策の検討および地区の活性化に向けた積極的な展開

#### 1 低未利用不動産等の利活用について

公有の低未利用不動産等であった旧北海道庁函館支庁庁舎を、株式会社はこだて西部まちづく R e - D e s i g n がリニューアル工事を完了し、8月11日よりオープン。

民有不動産では、大手上場企業が旧加藤家住宅をサテライトオフィスとして活用することとなり、現在、改修工事を行っている。開所は来年春を予定。

#### 2 重点整備街区再整備事業の実施

重点整備街区のうち、所有者意向を聞き取った上で、令和4年度は3街区を対象に事業化を検討する地区として選出しており、今後所有者等と交渉を行い、そのうち1～2街区を事業化することを目標とする。

##### 【船見町、弥生町、元町の3街区】

・所有者の活用意向について調査するため、調査依頼文書を発送し、訪問または電話等で聞き取りを行った。

#### 3 西部地区再整備事業アドバイザー

都市政策・都市デザイン分野におけるアドバイザーより、低未利用不動産等の事業手法等についての助言・意見交換を行った。

#### 4 「空家等対策および西部地区再整備事業の推進に関する協定」締結について

函館市と公益社団法人北海道宅地建物取引業協会函館支部および公益社団法人全日本不動産協会北海道本部が連携・協力し、空家等対策および西部地区再整備事業に取り組むことにより、良好な生活環境の保全および安全で安心なまちづくりを推進するため協定を締結した。  
(締結日：令和4年7月6日)

##### 【協定締結による具体的な業務】

###### ○函館市の業務

・市内にある空家等の所有者等から、流通および管理に係る各種相談を受けた場合の宅建協会および不動産協会への情報提供  
・宅建協会および不動産協会が行う空家等対策および西部地区再整備事業に関する業務等の広報など

###### ○宅建協会および不動産協会の業務

・市内にある空家等/西部地区内の不動産の流通および管理に係る各種相談等の対応ならびに相談情報等の函館市への提供  
・函館市が依頼する市内にある空家等/西部地区内の不動産の流通および管理に係る調査等への対応

#### 1 低未利用不動産等の利活用について

##### 【公有不動産】

・西小・中学校跡地

当該跡地の有益な活用に向けた基本的な考え方や方向性を基に、道営住宅の整備に係る協議および市の活用策の検討を進めるほか、民間による活用策について調査する「サウンディング型市場調査」を実施する。

・大町市有地

株式会社はこだて西部まちづく R e - D e s i g n よりエリアの賑わいづくりに貢献する活用意向が示されている。

#### 2 重点整備街区再整備事業の実施

地権者等との協議・交渉を進め、事業化に向けた詳細検討を進めていく。

・重点整備街区の空き地、空き家等の所有者へ利活用に関するアンケート調査を実施する。

#### 3 西部地区再整備事業アドバイザー

事業の効果的な推進を図るため、引き続き、都市政策等に関する分野の専門家より、専門的かつ実践的見地から先進事例の紹介や事業手法についての助言等を得る。

#### 4 協定締結による空家等対策業務

西部地区再整備事業を推進するため、各団体と情報共有を行い、空家や低未利用地の流通促進を図る。

## 町会活性化プロジェクト

### ○ 新たな人材との協働による町会活性化の推進

モデル町会と市職員や、学生等の新たな人材との協働による町会活性化のためのプロジェクトの実施等

#### 1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施

地域コミュニティを支える町会の活性化に向け、弁天町会をはじめ、青柳町会や弥生町会をモデル町会として、町会の活性化に必要な方策を検討・実施のうえ、効果の検証等を行った。

##### 【モデル町会】

弁天町会（令和3年度～継続）

##### 【新たな人材・担い手】

函館「荘」プロジェクト関係者（代表 下沢杏奈氏）

※北海道教育大学函館校地域プロジェクト協力

##### 【取り組み内容】

町会館を活動拠点とし、「しゅくだいクラブ」・「スマイルクラブ」と題した、子供向け行事の開催など

##### 【モデル町会】

青柳町会（令和4年度～）

##### 【取り組み内容】

町会役員と市職員による意見交換を通じて、町会・地域の課題を確認し合い、課題解決「町会活動の担い手の確保」, 「地域活動への参加率向上」などに向けた取り組みを実施する。

- ・役員会での意見交換
- ・町会館を活用した町会・地域活動など

##### 【モデル町会】

弥生町会（令和4年度～）

##### 【取り組み内容】

町会役員と市職員による意見交換を通じて、町会・地域の課題を確認し合い、課題解決「町会加入率の向上」, 「町会活動の担い手の確保」, 「地域活動への参加率向上」などに向けた取り組みを実施する。

- ・役員会での意見交換
- ・毎月開催の茶話会や納涼祭などを通じた町会活動

#### 2 函館西部地区まちぐらし相談

NPO法人はこだて街なかプロジェクト主催、函館市等協力のもと、西部地域の住民、土地・建物所有者を対象とした西部地区まちぐらし相談を実施した。

当日は、建築士や不動産鑑定士、宅地建物取引士などの専門家が相談に対応したものである。

##### 【開催概要】

○開催日時：令和4年9月3日（土） 10:00～15:00

○開催場所：弥生町会館 ○相談内容：・建物の隣地への越境。

○相談件数：4件 ・土地の活用方法に関するアドバイス など

#### 3 町会との意見交換

定期的に弁天町会や青柳町会および弥生町会をはじめ、各町会（元町町会、末広町会、大町町会、谷地頭町会など）の役員会や催し等に訪問し、西部地区再整備事業における情報交換や町会活動に関する課題等の意見交換を行った。

#### 1 新たな人材・担い手との協働による町会運営の活性化に向けた取り組み

新たな人材との協働による町会の活性化に向けた取り組みとして、引き続き、弁天町会（函館「荘」プロジェクト）をはじめ、青柳町会や弥生町会との継続的な取り組みを支援。

#### 2 モデル町会の選定

令和4年度のモデル町会として、青柳町会を選定し、また、複数の町会や関係団体等と連携して取り組む形にも柔軟に対応する予定。

#### 3 町会との意見交換

各町会の定例会議や催しなどに出向き、現状把握を行うとともに、対話を通じ、地域を巻き込んだ協働のまちづくりを推進する。